

ALL for ONE

Corporate Communication Magazine

Vol.13

Make the Leap

～ 飛 躍 ～



NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

労働集約型事業からの脱却！ 新たな価値を創造することが 求められている

言語空間定義

『事業』

1商品、1サービスは1つの事業である。

(R-1は1つの事業である。ガゼリ菌も1つの事業である。
大和ハウス工業は戸建て住宅事業は全体の10%、物流センター事業など、その他の事業90%が業態変更している)

成長戦略とは投資をするということ。
社会的意義が有り、価値ある事業、生産性が高く、
売上と利益が見込める事業には積極的に投資をします。

ただ、オハヨー乳業やカバヤ食品を例にすると、
競合他社は一人当たり売上高で3倍以上、
利益では5倍以上のところもある。
あなたは他社の状況も意識して仕事をしているか？
それが我々の課題である。

仲間を減らすことは目的ではない。
仲間の仕事を生み出すのは、あなた自身である。
価値ある仕事を生み出すのもあなた自身である。
今まで培ってきたあなたの経験が、
新しい事業を生み出すことを切望する。
やりたい仕事を提案するか。考えたこともない仕事に携わるか。



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
代表取締役社長 野津 基弘

自分の立ち位置は自分でつくらなければならない

あなたの仕事は成長戦略にのっていますか？

自分は何の事業で社会に貢献したいのか。

自分は何の事業で生産性を上げ、飛躍したいのか。

自分は何の事業で人を巻き込む仕事をしたいのか。

前提を疑わない限り、事業を見直し、クリエイトすることはできない。

あなたの仕事は価値がありますか？ 黒字ですか？ 赤字ですか？

知っていますか？ 伝えてますか？

...聞いてない、知らなかった、分からない、伝えてないは許されない。

損益に関するデータは素早く開示・共有し、

これまでの仕事に捉われず、迅速に、幅広くコミュニケーションを図り、

常に現状を疑い、満足せず、より価値ある仕事を創造してください。

「自分で考えて、行動して、結果を出す」。

環境や他人のせいにせず、

自分の力で価値と利益を実感できる仕事だけが、

あなたを成長させてくれる。

現場には力がある。

現場力と事業を飛躍させるのはあなたの創造力。

成長戦略に基づいた事業計画を土俵にあげる準備はしてあります。

新たな価値・事業を創造しましょう。

Link & Linkage

リンク & リンケージ株式会社

フジ物流とシステムメイト統合 新会社名は「リンク&リンケージ株式会社」!

グループ全体の最適化を目指した 「構造改革」がスタート

代表取締役社長

野津基弘

取締役副社長

沖山孝雄

取締役副社長

堀井秀則

フジ物流とシステムメイトは、7月1日、事業統合し新しく「リンク & リンケージ株式会社」に社名変更します。また、オハヨー乳業とカバヤ食品の受注業務も新会社を集約し、物流とITの連携・連動を強化することでサービスの充実を図る考えです。統合に向けてらつ腕を振るった新会社の沖山孝雄取締役副社長と堀井秀則取締役副社長、野津基弘代表取締役社長に、統合の狙いや今後の事業展開などをインタビューしました。

——7月から新会社がスタートしますが、統合の狙い、目的を教えてください。

沖山 一番は、やはりコスト削減です。中・長期経営計画にも掲げていますが、流通、食品メーカー、原材料製造会社を横断した事業体にする事で需給をコントロールし、資材調達・物流から製品の輸配送までを一気通貫で提案、提供できる会社にする考えです。

——具体的な取り組みを教えてください。

堀井 コスト削減の第一弾として、カバヤ食品とオハヨー乳業の受注業務を新会社に集約します。これまで食品メーカーと物流会社として通常の取引きをしていたため、グループ会社でありながら、シナジーを生み出すことはありませんでした。まずは、その考え方自体を変えてしまいます。

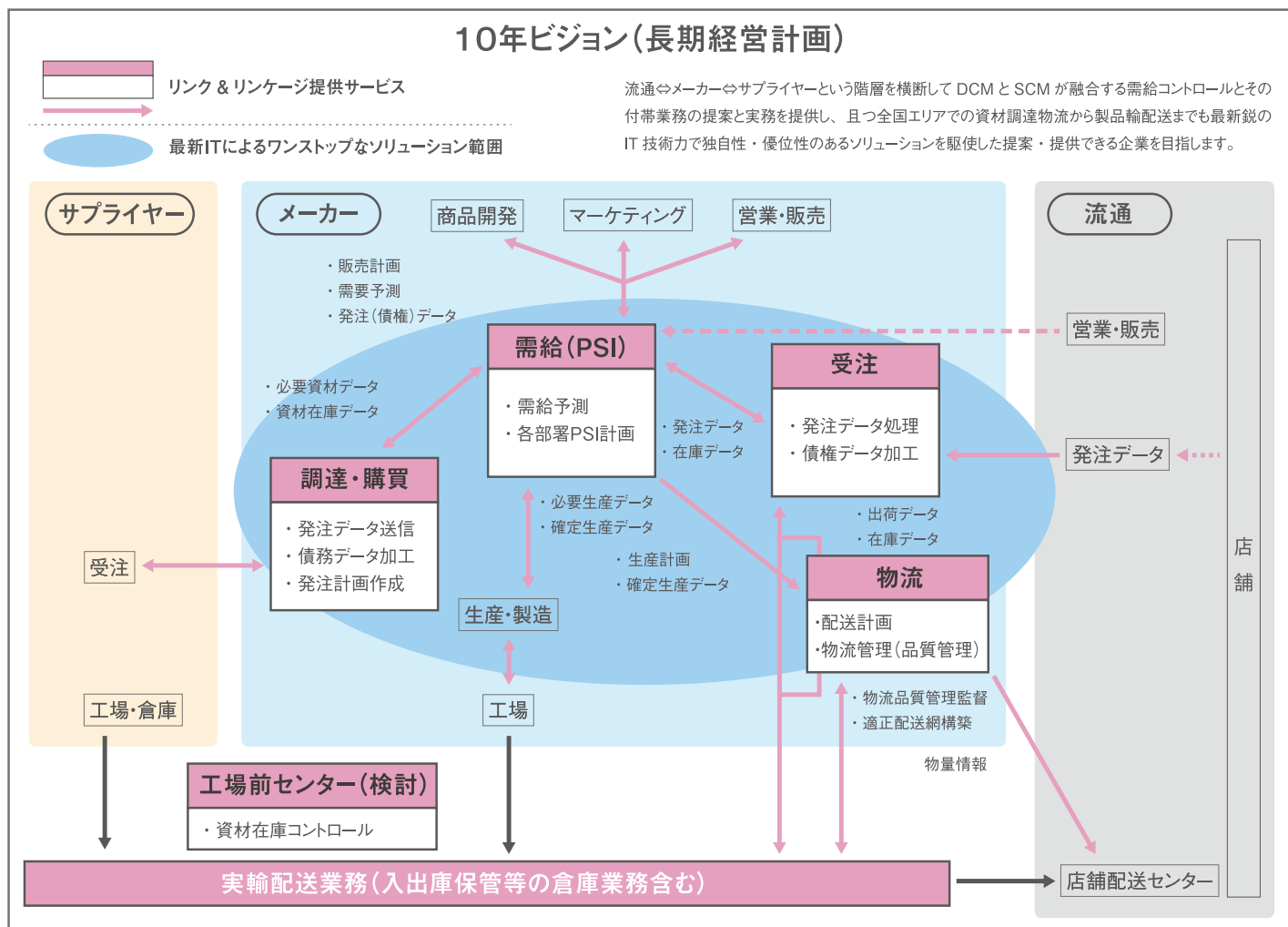
沖山 グループ会社には、重複している事業など改善できる案件が多い。それは基弘社長が常に話しているように、グループ企業にとって「宝」です。そして、改善していく

ことで社会的意義のある仕事にもつながると思っています。今回の統合で量販店からの発注から発送までに掛かっていたリードタイムが短縮されます。しかし、単に目先の業務改善や効率化を図ろうとしての統合ではありません。グループ全体の最適化を目指した「構造改革」なのです。

野津 その通りです。構造改革ができれば、社員の意識が変わり、行動も変わってきます。行動が変わった社員はこれまで以上に社外の人とつながり、コミュニケーションを図れる。まさに「Communication×Speed=Innovation」を体現することができると思います。

堀井 仕組みを新たに構築し、全体で効率化を図ることで、社員がフリーハンドで動ける時間が増えます。また、新しい物流システムの構築によって、ほかのメーカーの物流も取り込むことができる。衣料メーカーの受発注における事業モデルを食品メーカーでもやろうという発想です。食品は、ビジネス構造が衣料品と違うからできないとよく言われますが、そんなことはないと思っています。逆に言えば、わがグループでそれを成し遂げられれば、業界のパイオニアになれる。チャレンジ精神を持って仕事に取り組まなけ





れば、我々は生き残っていきません。

——**沖山さんと堀井さんがこういった事業に取り組もうとしたきっかけは。**

堀井 以前は全てのメーカーが独自に物流網を構築していました。ただ、悪天候や事故が発生すると、そこで商品が止まってしまい運べないことが日常茶飯事でした。その頃からもっと効率的に物流事業を展開することを考え、共同の配送センター構築を手掛けたのが始まりです。

沖山 私は常に現状を否定することを心掛けています。そして仮説を立てて、改善案を検討していくのです。ただその改善案を押し通すのには、かなり苦労します。以前のやり方を180度変えるのですから、反発にあいま

す。それでもやり切ってきました。最後は、人間力で押し切っていましたね。今は、そういう仕事のやり方を教えられていない人がほとんどです。私のやり方を押し付けるつもりはありませんが、今の仕事のやり方をもっと否定し、恐れずに新たにビジネスモデルを構築することに取り組んでほしいです。仕事は楽しくないと意味がありません。

——**新会社でのシステムメイトの役割は。**

野津 グループ会社の間接部門を担うシェアード会社として、各事業会社に適切なITソリューションの提案、保守を展開しつつ、新会社では、季節変動や定期イベントを考慮した需給予測システム(PSI)の構築に取り組めます。

沖山 このシステム構築は、新会社の中核事業になりますね。新会社は部門をロジスティクス事業、PSI事業、IT事業の3つで構成しています。ロジスティクス事業は、グループ企業の物流の品質向上に努め、IT事業では、グループ経営を推進し、社員の働きやすさを追求します。そして、PSI事業は、グループPSI最適化、IT事業と連携・連動し、需給予測システム構築をメインに展開していきます。

——**新社名「リンク&リンケージ」にはどういった想いが込められていますか。**

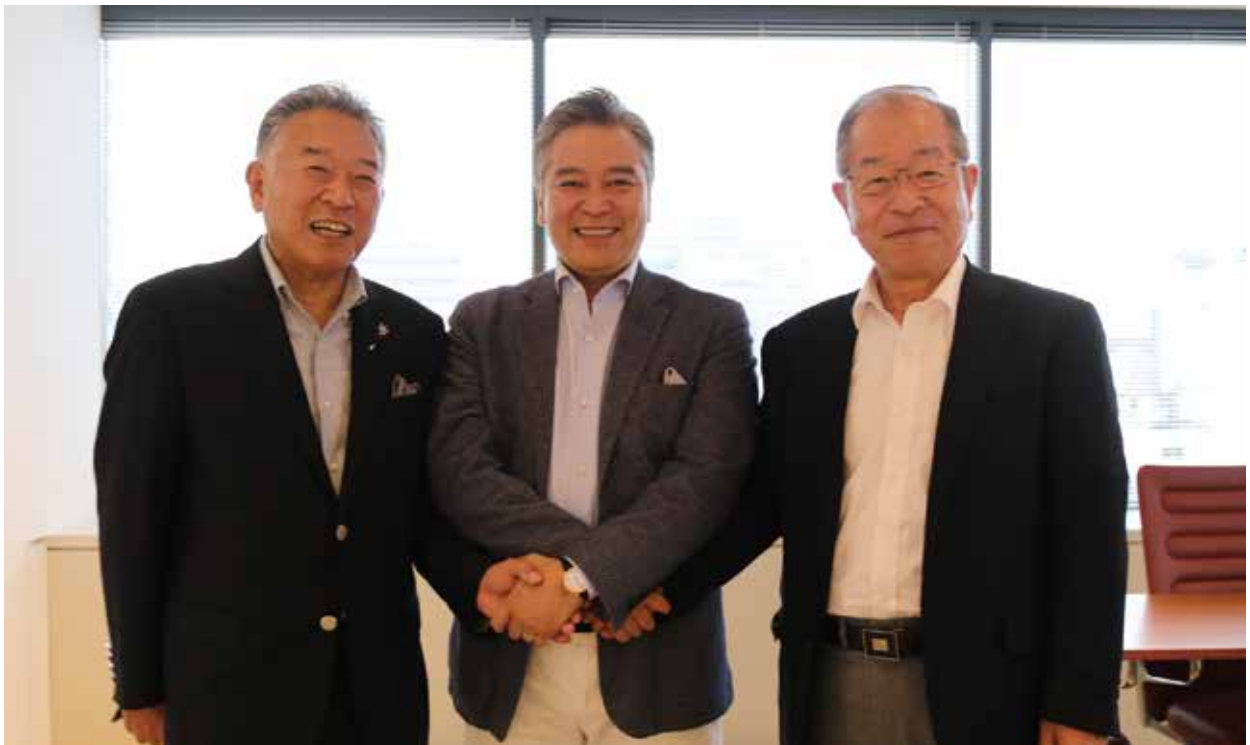
野津 消費者が必要としているものを届けていくために、社内外を問わず、有機的に連携・連動するという理念そのものを社名にしました。常に顧客目線で価値を創造し、感動を共有できる企業とは何かを問い続け、世のため人のために貢献できる企業を目指したいと思っています。

堀井 グループだけでなく、もっといろんな企業に目を向けてほしいですね。そうすれば、可能性は無限大に広がります。社員が多くの企業と有機的に連携・連動していけば、グループで売上高1兆円も夢ではありません。

——**最後に新会社の今後に向けた抱負をお願いします。**

沖山 今のグループ会社には、さまざまな無駄があると思います。その改善の第一弾がリンク&リンケージの設立なのです。設立に向けて、各事業会社の多くの人が協力してくれました。本当に感謝しています。これから期待に応えられるよう、需給予測システムを開発し、さまざまな企業と連携・連動させ、しっかりと運営管理していくのが我々の使命だと思っています。

野津 日本は今後、人口が減少することは明らかです。その中で、企業はどうやって生き残っていくか。私は、多くの社員が多角的、多面的に仕事をするのがカギだと思っています。そのためには、多くの企業と連携・連動する必要があります。他社と連携・連動するためには、その企業の経営方針や今後の事業展開を理解していなければなりません。もちろん、自社の経営方針や取り組みをちゃんと理解していることが大前提です。でなければ、相手と話ができません。これからは経営陣の取り組みをもっと知ろうとしてほしい。「ALL for ONE」を通じて発信していますが、分からないことがあれば、どんどん聞いてください。グループ社員全員が連携・連動できれば、どんなことも実現可能だと思います。





男子プロツアー 「ミズノオープン」 開催決定！

男子ゴルフのミズノオープンが2018年から3年間、「ザ・ロイヤル ゴルフクラブ」で開催。野津基弘社長は「ミズノオープンを通じて、世界に通用するコースであることを広く知ってもらいたい」と抱負を語りました。

男子プロゴルフ チャレンジトーナメント 開催

6月14～16日の3日間で739人が来場。当初予定していた数の約4倍の来場者が大会を盛り上げました。優勝は、地元茨城県出身の大槻智春選手。地元凱旋勝利を多くの観客が祝福しました。



ミズノオープン 記者会見 野津基弘社長あいさつ

来年度より、我々が運営している「ザ・ロイヤル ゴルフクラブ」で、ミズノオープンを開催することになりました。世界へと通じる全英オープン出場の切符を掛けたこの大会がザ・ロイヤル ゴルフクラブで開催できることを大変光栄に思っています。また、これまでJFE瀬戸内海ゴルフ倶楽部で開催されてきたミズノオープンを引き継ぐ重責を担って、身を引き締め、準備に取り掛かっていきます。

さて、今年の3月にグランドオープンしたザ・ロイヤル ゴルフクラブは、日本一の美しさを求めながら、8143ヤード、コースレートは78.4となります。古代ローマ人が「健全な精神は、健全な肉体に宿る」と理想を追求したように、ファンの皆様には、技術・巧みさだけでなく、精神・肉体的な強さが求められるコースで戦う、一流のアスリートの姿をぜひ、直に観戦しにきていただきたいと思います。

先日、マスターズにて活躍する選手を観る機会に恵まれ、拝見した感想は、ショットの飛距離と精密さというものは比例しているように感じました。練習場での打撃練習もさることながら、試合でのラウンドしているスウィングの方が振り切っているように見え、個々の選手たちの確固たる自信の強さが伝わってきました。

トヨタの豊田章男社長の著書の中で、「良い車とは、過酷な道、サーキットで鍛え上げられ、そのパフォーマンスが磨き上げられる」と書かれています。

「世界に通用するコース」

「世界に通用する選手を育てるコース」

「世界から尊敬されるゴルファーが集まるコース」

をコンセプトに、ぜひゴルフ界の皆様と実現したいと願い、今日という日を迎えることができました。

ザ・ロイヤル ゴルフクラブで、世界へ通じる選手たちが繰り広げる戦う姿を私が一番楽しみにしているかもしれません。

全英への道。

選手には、世界最古のメジャー・全英オープンへの扉だけでなく、クラレットジャグ優勝トロフィーへの扉を開けていただきたいと思います。勝負は潔く、同じルールに則り、さわやかに、お互いに讃えあえるような素晴らしいトーナメントの開催を迎えられるよう、一日も無駄にせず邁進していく所存です。

これまでミズノオープンを支えてくださったJFE瀬戸内海ゴルフ倶楽部からのバトンをしっかりを受け止め、全英オープン主催するR&A、ミズノとの強固なパートナーシップを築いていきたいと思っています。そして、さまざまな報道関係各社の皆様のお力添えをいただきながら、ミズノオープンと一緒に盛り上げていきたいと思っています。

グループ 従業員 割引

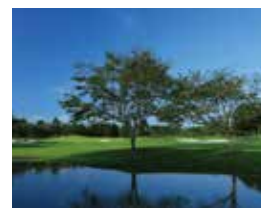
▼東京レジャー開発

ザ・ロイヤル ゴルフクラブのプレー料金を特別料金でご優待など、各コースのプレー料金、同伴者や、従業員による紹介者のプレー料金も割引になります。

詳しくは各コースにお問い合わせください。

対象

グループ従業員、
および同伴者、紹介者



▼イケダペットファーム

全国12カ所の店舗でペット、ペット用品を
全て20%オフ

※ペットについては、さらに割引可能な場合があります。
お気軽に店長にご相談ください。
※トリミング、処方食は割引対象外となります。

対象

グループ従業員、
家族



▼ライフデザイン・カバヤ

- (1) グループ従業員が新築購入の場合、
本体価格より5%オフ
- (2) グループ従業員の紹介により
成約の場合、紹介者に謝礼10万円



対象

グループ従業員

▼トータルアシスト・カバヤ

自動車保険が団体保険適用となります。
(最大12%割引)
詳しくはお見積りをいたしますので、
お気軽にお問い合わせください。

対象

グループ従業員、
家族



▼専門学校岡山情報ビジネス学院

出願時、入学補助として、
入学金減免(7万円割引)いたします。

対象

グループ従業員の
3親等以内の方
(甥、姪まで)



NEW FAMILY

新しい仲間たち



きくの おさむ

大学卒業後、総合商社で化学品グループに所属。2年間の経理部研修生を経て、欧米、中国を中心とする海外市場開拓、国内・海外事業投資会社で経営改革推進を実施。2017年5月入社。山口県出身。

菊野 修

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社
社長室部長 兼 海外事業担当部長

これまで総合商社でバイヤー、サプライヤー、メーカー、JVパートナーとして国内外の多くの企業と関わる機会に恵まれました。その経験から見ても、カバヤ・オハヨーグループは、世界基準挑戦への本気度の高い企業集団であると感じています。経営メッセージが明確であり、社員への発信を続け、成長のための人材育成に取り組む。実際にここまで熱心に取り組んでいる企業は、なかなか見当たらないのが実情です。微力ではありますが、世界基準に本気で取り組むグループの底上げに、これまでの経験の全てを傾けていく所存です。一方で、初めての食品メーカー、BtoC事業への挑戦ですので、皆さんに色々教えて頂きたいと思っています。気軽に声を掛けると思いますが、その際は熱意の表れと受け取っていただけると嬉しいです。

学生時代はバックパッカーでいろんな国を旅しました。予習がてら訪れる国の歴史小説を読んでいたことから、歴史本は今でもよく読みます。若いころは、野球もしていましたが、今はもっぱら観戦を楽しんでいます。



うちかわ ひさお

大学卒業後、西武百貨店に入社。インテリア雑貨商品の販売、バイヤーを経てニューヨーク現地法人に勤務。ブランド・ライセンスビジネスに従事後、本部の仕入れ部長、本店、支店の副店長、店長を経験し、新規店舗の立ち上げや店舗リニューアル等を多数経験する。2017年2月入社。長野県出身。

内川 久生

東京レジャー開発株式会社 ザ・ロイヤル ゴルフクラブ 支配人

37年間勤めた百貨店を退社し、今年2月にザ・ロイヤル ゴルフクラブに加わりました。「今までとは、違ったフィールドで新しい仕事に挑戦をしたい」というのが、転職のきっかけです。全く未知の仕事でしたが、多くの皆さんにご支援いただき、3月25日のグランドオープンを迎えることができました。

私は「突き抜ける」という言葉が好きです。新しい会社、ビジネス、商品、サービス。いずれも成し遂げるためには、情熱だけではなく「突き抜ける」気概が大事だと思っています。来年5月には、当クラブで「ミズノオープン」が開催されます。従業員・メンバーを一つにして、新しいゴルフ場作りに挑戦したいと思います。

趣味はゴルフと言いたいのですが、なかなか上手くなりません。自宅に戻った時には、庭いじりをしています。草木に接するのは私のストレス解消でもあります。また以前は自宅近くの公園でウォーキングを楽しんでいましたが、現在はゴルフ場にフィールドが代わりました。



きむら ひでき

一般社団法人日本ゴルフツアー機構 (JGTO) に18年間勤務。ツアー・トーナメント、チャレンジ・トーナメント、クオリファイング・トーナメントなど、国内外で開催されるさまざまな大会の競技運営等に従事。また、鈴木規夫プロと廣戸聡一氏がオリンピック選手輩出を目的に立ち上げた宮崎合宿の企画・運営も担当した。2017年4月入社。神奈川県出身。

木村 英輝

東京レジャー開発株式会社 営業管理部長

鈴木規夫プロとの縁で、「ザ・ロイヤル ワールドプロジェクト」の話を聞き、世界を目指す企業方針に共感し、東京レジャー開発に飛び込んできました。世界基準を掲げるプロジェクトのメンバーとしてチームに加われることを誇りに思っています。2018年には、ザ・ロイヤル ゴルフクラブで「ミズノオープン」が開催されます。全英オープンにつながるこのビッグトーナメントを必ず成功させ、そして当クラブを世界に知らしめるため、全力で取り組む所存です。

趣味はゴルフと旅行。職業柄、ゴルフが上手いと思われることが多いのですが、自身のゴルフはエンジョイゴルフです。もうひとつの趣味は、旅行というより旅が好きです。20代の頃に一人でヨーロッパやアジアの各地を旅したのが良い思い出です。



わかばやし あきら

大学卒業後、静岡県の機械メーカーに勤務、1994年からは海外拠点づくりのためにタイ国バンコクに駐在し、現地法人を設立。2016年12月に日本の本社を退社後、17年3月にタイ国現地法人のCEOを退任。2017年4月入社。静岡県出身。

若林 彰

エクセルパック・カバヤ株式会社 執行役員

幼少期から海外で生活しており、タイ、レバノン、イギリス、南アフリカ共和国と大学を卒業するまでに14回転校を経験しました。前職の機械メーカーでは、海外拠点づくりを任命され、1994年からタイに行き、96年に現地法人を設立。2017年3月までCEOとしてバンコクに居住していました。岡山での生活経験はまったくありませんが、新しい土地での仕事や生活の経験は豊富ですので、問題ありません。仕事では、これまでに培ったメーカー営業の基本と経営手法で社内改革を進めたいと思っています。

趣味はスポーツ全般で、タイでは午前中にゴルフ、午後はテニスと結構パワフルに活動していました。最近はなるべく走るスポーツは避けており、もっぱらゴルフに軸をおいています。

日本アンチエイジング歯科学会に協賛



日本カバヤ・オハヨーホールディングスは、5月27、28日、愛知県名古屋市の愛知県産業労働センターで開かれた日本アンチエイジング歯科学会第12回学術大会に協賛しました。

目的は、歯科業界とのつながりを確固なものにし、ロイテリ菌の有用性と今後発売する商品を歯科のチャネルを使って広くPRしていくためです。日本アンチエイジング歯科学会には、著名な歯科医や栄養コンサルタントが多数所属しており、ロイテリ菌関連商品発売の際にはオーラルケアのキーパーソンとして活躍してもらう予定です。

学術大会の講演では、口腔ケアや歯周病予防の重要性について歯科医だけでなく、糖尿病の専門医なども講演。医と食のバランスを変える事業において価値ある商品開発に役立つ内容で、参加したオハヨー乳業、カバヤ食品の社員は熱心に耳を傾けていました。



エヴァンゲリオンとのコラボ商品企画



カバヤ食品は、4月22日～5月14日、イオンモール岡山内のおかやま未来ホールで開催された「エヴァンゲリオン展【岡山会場】」で、今冬発売予定の「ほねほねゲリオン」を展示しました。

人気アニメ「エヴァンゲリオン」と玩具菓子「ほねほねザウルス」との初のコラボレーション商品企画。カバヤオリジナルブランドとしてほねほねザウルスの価値を高め、ファンのすそ野を広げることが狙いです。

今後も商品発売までに、ファンの購買意欲や関心を高めていけるよう、さまざまな企画を実施していく予定です。

(C) カラー

東京、岡山同時にヨガ体験会



日本カバヤ・オハヨーホールディングスは、5月24日、東京の紀尾井町オフィスで、グループ従業員を対象にしたヨガ体験会を開きました。

身体を動かすことで、社員に心身ともにリフレッシュしてもらおうと企画。全日本ヨガ連盟の小林七絵さんと、2015、16ミス・ワールドファイナリストの中武夢未さんが講師を務め、約1時間みんなで汗を流しました。ストレスやうつ病対策に役立つヨガのポーズや呼吸法、瞑想を行い、心と身体の“凝り”を解きほぐしました。

オハヨー乳業岡山本社との同時中継も実施。岡山本社はヨガ部のメンバーが集まり、2拠点で17人が参加しました。今後も実施を検討中とのことですので、興味がある人は、ぜひ参加してください。

トリマー研修をスタート



イケダペットファームは、5月より外部講師によるトリマー研修をスタートしました。

同社としては初めての取り組みで、まずは関東圏に勤務するトリマーを対象としています。講師を務めるのは、国内外で多数の受賞歴を持つトリマーの齋藤直子さん。研修は赤坂にある齋藤さんのドッグサロン「Mu Runa」で行われました。

「トリマーにとって大切なのはお客様との信頼関係。そのためにも、知識を身に付け、技術を向上させることが重要です。カットのスピード

が上がれば、ペットも自分も負担が少なくなり、視野も広がる。部下の育成や他のスタッフとのコミュニケーションも活発になって、さらに質の高いサービスが提供できるようになります」と話す齋藤さん。受講者からも「現場に入ると学ぶ機会が少ない。はさみ、くしの使い方といった基礎的な内容はもちろん、レベルの高い技術を間近で見て学ぶことができてとても良かった」と、さっそく効果を実感する声が上がっています。同社は今後、西日本でも研修を実施していく考えです。



読んだ推薦図書

「熱狂する社員 企業競争力を決定するモチベーションの3要素」
デビッド・シロタ

カバヤ食品

村上史帆さん

社員のやる気が企業の力を決定するという考えのもと、「社員のやる気が最高潮に高まる＝熱狂する状態を創り出すために必要な要素」として公平感、達成感、連帯感を挙げ、その実現方法について解説した本です。世界中のビジネスパーソンにインタビューし、その結果を基に構成しているので、納得しながら理解できる内容となっています。

人の熱意こそが仕事を成功へ導く最大の力だと常々感じていますが、思い通りにならないのもまた人の心です。自分に対しても他人に対してもモチベーションコントロールで悩んだ経験を持っている人は多いのではないのでしょうか。この本は、主観的に考えてしまいがちなモチベーションの要因を体系的にまとめており、この悩みに一つの答えを与えてくれると思います。

私達の会社は今、変革の真っただ中。困難も多い今だからこそ、読んでもらいたい一冊です。



読んだ推薦図書

「ほんとうの心の力」
中村天風

オハヨー乳業

藤原敬章さん

この本は「心の持ち方」の重要性をさまざまな例えを用いて説明しています。具体的には、積極思考の重要性、笑顔の大切さ、感謝の気持ちなどです。ALL for ONEで紹介された「GRIT」も基本的には同じ思考だと思います。著者の言葉の中に、「天命と宿命」と言うものがあります。天命は逃れられないが、宿命は切り開く事ができる。我々も今ある課題を宿命ととらえ、やり切るために努力しなければなりません。努力とは目的のために目標を定め、失敗も成功へのステップとして試行錯誤する事だと思います。そのためには、「心の持ち方」が重要だと思います。

また、見開き2ページで1項目なので読みやすいですし、自分の好きな所だけ何回も読むことができます。活字が苦手な人は「中村天風の教え」と言うビジネスコミックも出ていますので、天風哲学に触れてみてはどうでしょうか。



読んだ推薦図書

「道をひらく」
松下幸之助

フジ物流

藤田浩敬さん

生き方や心の在り方についても学べる本でした。項目の中で、「道」という項目が一番印象に残りました。人生には険しい道が多く、立ち止まりたくなることもあります。少しずつでもいいから歩んでいかなければという気持ちにさせてくれました。また、「失敗することを恐れるよりも、真剣でないこと恐れたほうがいい」という一文も胸に響きました。これまで失敗を気にしてしまい、全力を出し切れていない部分がありましたが、この本をきっかけに、何事にも全力で頑張ろうと心に誓いました。

そのほかにも、信念や生きがい、仕事の質を向上させるためのヒントが多く含まれており、狭くなった視野を広げてくれる本です。



読んだ推薦図書

「やりたいことをやれ」
本田宗一郎

瀬戸内海経済レポート

赤木英紀さん

無類のHONDA好きのため、この本を手に取りました。300文字程度の「一日一話」スタイルで、短い文章の中に本田宗一郎氏が考える仕事や遊びの本質、人生観をストレートに綴っており、読みやすく、多くの気付きやヒントが得られる内容でした。中でも、本田技研工業を二人三脚で世界的大企業に育てた名参謀・藤沢武夫氏とのエピソードや、息子を入社させた際の経営者としての葛藤などが興味深かったです。

「人を動かすことのできる人は、他人の気持ちになれる人である。そのかわり、他人の気持ちになれる人というのは自分が悩む。自分が悩んだことのない人は、まず人を動かすことはできない」一。この言葉を念頭に置き、管理職として成長していきたいと思います。

日本カバヤ・オハヨーホールディングス 社長室より

当初よりお伝えしていますが、会社に対して3回以上質問・意見・提案したこと、評価に対して知らされていない、3ヶ月以上返答がない、または納得が出来ていない、現場で抱えている問題…等々、誹謗中傷以外、あなたの発言を尊重して守り、個の利益・利害を阻害することなく、全て受け付けます。

ALL for ONEの精神にのっとり、問題・課題の解決に向けて取り組むことこそが事業にとって、あなたにとっての利益となると考えます。

現場にこそ答えがある。

ご連絡お待ちしております。

連絡先: 日本カバヤ・オハヨーホールディングス 社長室 担当:北山
Fax: 086-231-4783 Mail: info@kabaya-ohayo.jp

ONE for ALL

当事者意識を以って、個々の人生設計を中・長期経営計画に映し出し、自らの豊かさと事業の成長・発展を一致させ実行し、達成する。

ALL for ONE

現状から目を背けず、現実を直視し、真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする。トップからのメッセージを直接伝えると同時に、それぞれの取り組みにフォーカスし、全社一丸となってその一人を支えていく。

編集後記

フジ物流とシステムメイトが事業統合し、7月1日、新会社「リンク&リンケージ株式会社」に社名変更します。統合に向けて尽力した沖山孝雄副社長と堀井秀則副社長、基弘社長の座談会は、とても刺激的な内容でした。特に沖山さんの「新会社は、単に目先の業務改善や効率化を図ろうとしての統合ではなく、グループ全体の最適化を目指した『構造改革』だ」との言葉には、とてもワクワクしました。この構造改革は、企業単体に対してのものではなく、業界のビジネス構造全体を変えようとしているものです。沖山さんはいつも「仕事は楽しくないと意味がない」と話しています。私より30歳も年上の先輩がこんなに生き生きと仕事に取り組んでいる。負けるわけにはいきません。

また、基弘社長が話していた通り、これからは多くの企業と連携・連動する必要があります。そのためには、自社の経営方針はもちろん、自分が担当する事業の損益を知らないなんて言語道断です。ビジネスマンである以上、聞いていない、分からないは通用しません。全社員が分からないことは、徹底的に理解に努め、一切の妥協を許さず仕事に取り組まなければ、「世界基準」になることなど到底できません。(細川)

投稿・ご意見募集中！

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」などの意見やALL for ONEの感想や疑問点をアンケートに記入して送ってください。ご意見、ご感想をお待ちしています。



日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ
Corporate Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.13

発行：2017年6月30日
制作：「ALL for ONE」編集室
〒700-0981 岡山市北区西島田町8-9
(株)瀬戸内海経済レポート内 ☎086-805-6188 FAX 086-805-6177

NIPPON
KABAYA OHAYO
HOLDINGS
INC.

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする

... ONE for ALL